

出口さんが第5代会長に 令和元年の会運営が始動

あ・そうかいの平成30年度の定例総会が、2019年4月22日（月）午前10時から、やまゆり会議室で開催されました。年に1度の重要なイベントであり、新しい令和時代のスタートまで1週間余というタイミングもあって、8割を超える46人の会員が顔をそろえ、終始なごやかな雰囲気の中で会議が進められました。

植木事務局長の司会でまず、この1年間、緻密な会運営をリードしてきた飯塚会長がにこやかに開会のあいさつ。最初に新入会の岡部さん（A班）桜井さん（B班）再入会の上治さん（C班）がそれぞれ紹介されました。また、この日は出席できませんでしたが、森末さん（C班）の再入会も報告されました。

続いて、飯塚会長がこの1年間の活動状況を報告しました。会員数が56人に達したこと、@サロンの行事は、新規に試みられた定例会後の昼開催は参加者が多く好評だったが、9回実施した夜の開催は、参加者が12人前後で固定しがちだったこと、「あ・そうかい通信」は井口さんのご努力で4回発行できたこと、新たな分科会の立ち上げはなかったことなど、着実な実績とともに、今後に向けて課題があることが浮き彫りになりました。

松崎委員による会計報告や、佐々木さんによる監査報告の後、飯塚会長が3月の例会で討議された事項を中心に、新旧の運営委員で決定した、新年度令和元年度の活動計画案を報告しました。また、岩田会計担当により、新年度予算案が発表され、これらすべてが原案通りに了承されました。（別添資料参照）

このあと、各班から選出された新年度の運営委員が公表され、丸岡（A）牧野（B）出口（C）吉田（D）中山（E）佐柄木（F）田中（F=女性枠）の7名全員が承認されました。そして、新委員の互選により出口委員が第5代の会長に就任。新会長は「このメンバーで充実した会運営をこころがけるので、会員みなさんも楽しくやっていただきたい」と抱負を述べました。また、副会長には吉田委員、会計担当が中山委員、他の4人が庶務担当と、役割分担が明らかにされました。

最後に、退任する第4期の運営委員各氏が、一人ひとり退任のあいさつをし、飯塚会長が大江健三郎の言葉を引いて「見る前に跳べ！」と会のさらなる飛躍に檄を飛ばして、幕を閉じました。（文責 佐柄木）

「分科会活動の充実を」—4月例会を開催

総会終了後、10分の休憩をはさんで、第5期の最初の例会となる平成31年度の4月例会が開かれました。最初に、副会長に選出された吉田さんが「3年ほ

ど前に入会したが、一度は必ず運営委員をやらねばならないことは知らなかった。令和時代の始まりという記念の年にやらしていただくことになったのも何かの縁。出口会長からはすでにあれをやれ、これをやれ、と指示が飛んでくるが、一年間がんばります」などと抱負を述べました。

続いて、新運営委員の紹介があり、佐柄木、丸岡、田中、中山、牧野各氏の順でそれぞれあいさつ。田中委員が「和気あいあいとやりたい」と述べれば、牧野委員は「川の流れるように流していきたい。固まらないように」などとユニークな発言で会場を沸かせました。

この後、分科会活動の報告に入り、配布された一覧表をもとに、現在15登録されている分科会のうちで、「@ぐるめ」と「@自業塾」については様々な事情から休止状態にあることが説明され、残る13分科会については、リーダーや関係者から、活動状況や近々の活動予定が報告されました。山本さんがリーダーを務める「@大人の社会見学」では、5、6月中にJAXAの相模原センターや、江ノ島水族館の見学を計画中であることが、また、「@異文化」については、西田リーダーから、「大きなテーマの座談会を2、3か月に1回は、また英会話の勉強は月に1回はやりたい」などの方針が明らかにされました。

さらに中山委員から、2017年5月に制定された『『あ・そうかい』分科会のためのガイドライン』と、それに基づく申請書の説明があり、出口新会長から、各分科会の世話人に対し、改めて申請書を提出するよう要請がありました。

また、会場を「やまゆり」に変更することが課題となっている文化祭については、牧野委員を文化祭担当とし、実行委員会のメンバーと協議することなどが決められました。この後、5月26日（日）に予定されているフリーマーケットについて、吉田副会長らから「前日の午後5時半から搬入を受け付けるが、やまゆりサポートセンターの総会の日なので、その流れで手伝い等をよろしく」「収益は、そのまま『あ・そうかい』の活動資金になるので、奮って出品ください」などの発言があり、散会しました。

（文責 佐柄木）